報道関係各位
ニュースリリース

RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークスの書籍発売のお知らせ

お金のキホンがよくわかる「投資家と考える 10 歳からのお金の話」

2024 年 2 月 20 日
レオス・キャピタルワークス株式会社

投資信託「ひふみ」シリーズを運用するレオス・キャピタルワークス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：藤野 英人、東証グロース：7330、以下「当社」）は、2 月 22 日に書籍「投資家と考える 10 歳からのお金の話」（講談社）を上梓いたします。私たちは、より多くの人たちと楽しく「お金の話」をしながら金融や経済について伝えていきたいと考え、「ひふみ金融経済教育ラボ」を立ち上げました。本書は、「ひふみ金融経済教育ラボ」が子どもから大人までお伝えしたい「お金と私たちのつながり」や「お金の上手な使い方」についてまとめた書籍です。将来お金を有効に活用するためには、子どものころからお金について考えることや、お金の使い方を練習することが必要だと考えています。そのため本書は、親しみやすく理解しやすいよう、漫画やイラストをふんだんに入れてまとめました。代表の藤野のほか当社メンバーもイラストで登場し、お金や投資に関する様々なエピソードを、実体験などを元にお伝えしています。

【書籍情報】
著者：レオス・キャピタルワークス株式会社
　　ひふみ金融経済教育ラボ
漫画：遠田おと
発売日：2024 年 2 月 22 日
発行所：株式会社講談社
定価：1,870 円（10%税込）
ISBN-10 ：4065345162
ISBN-13：9784065345160
Amazon サイト
https://www.amazon.co.jp/dp/4065345162/

報道関係各位
ニュースリリース

RHEOS CAPITAL WORKS

報道関係各位

ニュースリリース

RHEOS CAPITAL WORKS

世の中とお金

社会はお金でつながっている

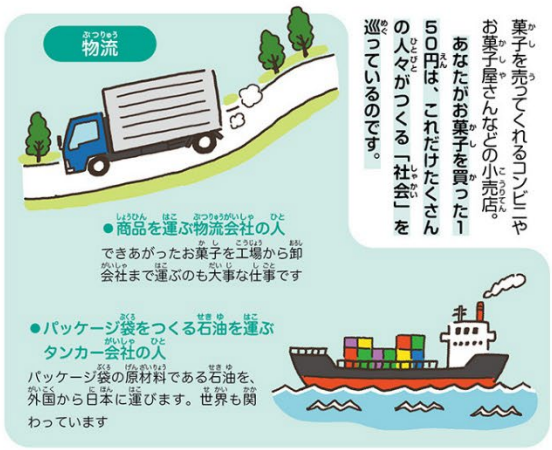
使ったおこづかいはどこに行く？

お菓子に払ったお金は、たくさんの人々のもとに届く

今、あなたはお店で150円のお菓子を買いました。このお金はどこに行くのでしょう？

まず、お菓子をつくった会社の売り上げになりますね。それだけでなく、お菓子にかかわる人たちに分けられます。お菓子をつくるメーカーの人々、できあがったお菓子をお店まで運ぶ物流の人々、お菓子を売ってくれるコンビニやお菓子屋さんなどの小売店。

あなたがお菓子を買った150円は、これだけたくさんの人々がつくる「社会」を巡っているのです。



お金を得る

世の中に貢献したごほうび

「清く豊かに」なろう

世の中全体がよい流れであるために

挨拶は人と人がよい関係であるために必要なこと

世の中をよい状態にするために働く

人と会うと挨拶をしますね。挨拶は、相手の状態を聞くことです。「こんにちは」は「今日はご機嫌いかが？」、英語の「How are you?」は「あなたはどういう状態ですか？」を縮めたもの。私たちは、いつも相手の状態を聞いて、相手を思いやりながら、人間関係をつくっているのです。

働くのも、世の中を「well being（良い状態）」にしていくためです。これは私たちが幸せに生きていくために、とても大切な視点です。

外国ではお金持ちこそ人の役に立つことにお金を出す

昔から、日本には貧しい人こそ清らかであるという「清貧の思想」があります。ひるがえって、豊かになるためには何か悪いことをしなければならない、という誤った考えを生んでいるようです。しかし、人のためになる仕事をして豊かになったほうが、国は発展していくのです。

清く豊かに生きる「清豊」をめざしましょう。

働くことは我慢することではない

「働くこと」を、「我慢して言われたとおりのことをやって、お金をもらうこと」だと思っている人は少なくありません。でも、我慢をずっと続けるのはつらいもの。このような考え方で幸せに生きていくのは難しいでしょう。

「働くこと」の本質は、「世の中をよい状態にすること」にあります。意思を持つ自立した人間として「よりよい状態」を目指し、仲間と協力しながら仕事をする。それが幸せに生きていくことにつながるのです。そして誠実に人が喜ぶ仕事をすれば、自分の収入も増えていくでしょう。